

NYマーケットレポート (2021年3月11日)

2021年3月11日 (木)

アジア主要株価指数	終値	前日比	年初来%
日経平均	29,211.64	+175.08	6.44%
ハンセン指数	29,385.61	+478.09	7.91%
上海総合	3,436.83	+79.09	-1.04%
韓国総合	3,013.70	+55.58	4.88%
豪ASX200	6,713.92	-0.18	1.93%
シンガポールST	3,106.01	+26.29	9.22%
インドSENSEX	休場		#VALUE!

*インド市場はシバ神誕生日のため休場

外国為替	終値	高値	安値
USD/JPY	108.48	108.81	108.36
EUR/JPY	130.03	130.04	129.23
GBP/JPY	151.78	151.78	150.93
AUD/JPY	84.47	84.54	83.80
EUR/USD	1.1986	1.1990	1.1916
BRL/JPY	19.481	19.516	18.924
RUB/JPY	1.471	1.474	1.459

欧州主要株価指数	終値	前日比	年初来%
英FT100	6,736.96	+11.36	4.28%
仏CAC40	6,033.76	+43.21	8.69%
独DAX	14,569.39	+29.14	6.20%
スペインIBX35	8,593.00	+67.80	6.43%
イタリアFTSE MIB	24,121.37	+195.41	8.49%
トルコ・イスタンブール100	1,556.49	-8.45	5.40%
ロシアRTS	1,505.22	+25.65	8.49%
南ア全株指数	68,775.06	+258.07	15.77%

コモディティ	終値	前日比	年初来%
NY GOLD	1722.60	+0.80	-9.32%
NY 原油	66.02	+1.58	35.76%
CBOTコーン	538.50	+4.50	11.43%
CRB指数	194.545	+2.789	15.94%
ドル指数先物	91.425	-0.398	1.65%
VIX指数	21.91	-0.65	-3.69%

米主要株価指数	終値	前日比	年初来%
米ダウ平均	32,485.59	+188.57	6.14%
S&P500	3,939.34	+40.53	4.88%
NASDAQ	13,398.67	+329.84	3.96%

南北米主要株価指数	終値	前日比	年初来%
カナダ・トロント総合	18,844.57	+154.57	8.09%
メキシコ・ボルサ指数	47,673.82	+124.15	8.19%
ブラジル・ボベスパ指数	114,983.76	+2207.27	-3.39%

*一部暫定値

Crypto Currency	本日	前日
CME Bitcoin(先物・期近)	57975	57240
Ripple(XRP)【BSTP】	0.455	0.465
Ethereum【BSTP】	1840.60	1816.42
Bitcoin Cash	548.97	554.63

オセアニア国債利回り	本日	前日
オーストラリア10年債	1.663%	1.719%
ニュージーランド10年債	1.723%	1.825%

日本国債利回り	本日	前日
2年債	-0.109%	-0.116%
10年債	0.102%	0.128%
30年債	0.663%	0.705%

欧州国債利回り	本日	前日
ドイツ10年債	-0.334%	-0.313%
英国 10年債	0.735%	0.714%
フランス 10年債	-0.090%	-0.060%
イタリア 10年債	0.600%	0.680%
スペイン 10年債	0.300%	0.350%

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.139%	0.153%
10年債	1.537%	1.518%
30年債	2.294%	2.238%

3/12 経済指標スケジュール
08:50 【日本】1Q景況判断BSI[大企業製造業]
16:00 【ドイツ】2月消費者物価指数
16:00 【英国】1月鉱工業生産
16:00 【英国】1月製造業生産高
16:00 【英国】1月サービス業指数
16:00 【英国】1月商品貿易収支
16:00 【トルコ】1月鉱工業生産
17:30 【香港】4Q鉱工業生産
17:30 【香港】4Q生産者物価
19:00 【欧州】1月鉱工業生産
21:00 【ブラジル】1月小売売上高
21:00 【メキシコ】1月鉱工業生産
22:00 【ロシア】1月貿易収支
22:30 【米国】2月生産者物価指数
22:30 【カナダ】2月失業率
22:30 【カナダ】2月雇用ネット変化率
22:30 【カナダ】2月労働参加率
22:30 【カナダ】1月卸売売上高
22:30 【カナダ】4Q設備稼働率
00:00 【米国】3月ミシガン大学消費者信頼感指数

3/12 主要会議・講演・その他予定
・米国夏時間移行 (14日～)

NY 市場レポート（前日 22 時 00 分～午前 6 時 30 分まで）

主要な欧州経済指標の結果

欧州中銀 政策金利 0.00%（予想 0.00%・前回 0.00%）

下限政策金利[中銀預金金利] -0.50%（予想 -0.50%・前回 -0.50%）

上限政策金利[限界貸出金利] 0.25%（予想 0.25%・前回 0.25%）

ECB 声明

- ・ 中銀預金金利を -0.500%に据え置き
- ・ パンデミック緊急購入の規模を 1.85 兆ユーロで維持
- ・ PEPP（パンデミック緊急購入プログラム）は状況が好ましければ全額使わない可能性
- ・ PEPP 購入ペースを次の四半期で大きく加速

ラガルド ECB 総裁の会見での主な発言

- ・ 全体的な経済情勢は年間で改善していく
- ・ 中期のインフレ見通しはほぼ変わっていない
- ・ ECB は全ての政策手段を必要に応じて調整する用意
- ・ 1-3 月のユーロ圏経済は縮小の公算
- ・ リスクはより均衡した

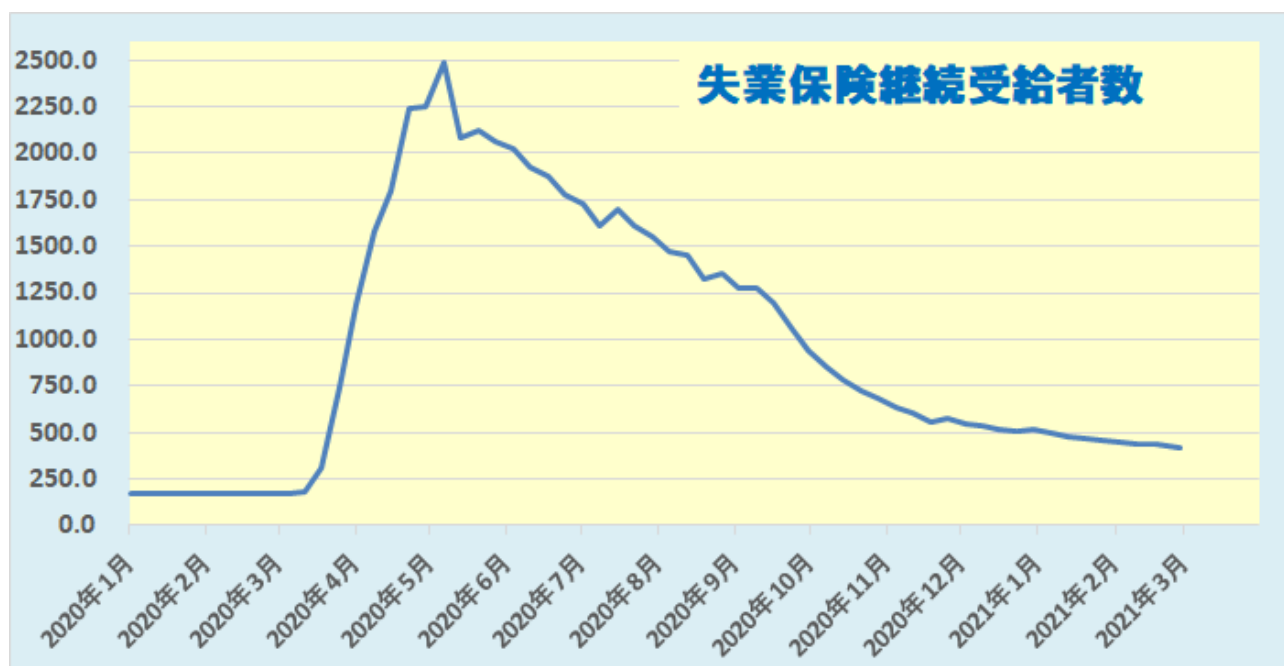
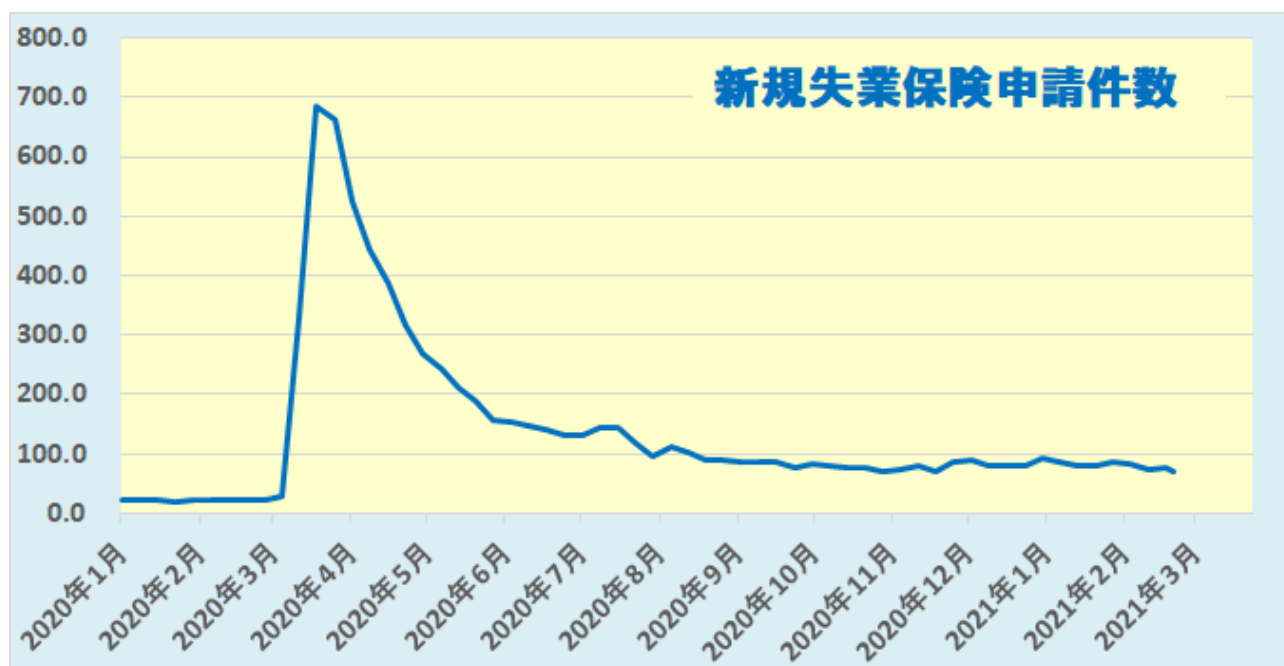
- ・ 今年のインフレ率は揺れが大きい
- ・ 長期のインフレ期待は引き続き低調
- ・ 債券購入の加速、具体的な数字は念頭にない
- ・ ECB はイールドカーブコントロールをしていない
- ・ ECB は一時的なインフレ急騰は重視しない
- ・ ECB は為替レートを目標にしてはいない

米国の主要な経済指標の結果

新規失業保険申請件数 71.2 万件（予想 72.5 万件・前回 74.5 万件⇒75.4 万件）

失業保険継続受給者数 414.4 万人（予想 420.1 万人・前回 429.5 万人⇒433.7 万人）

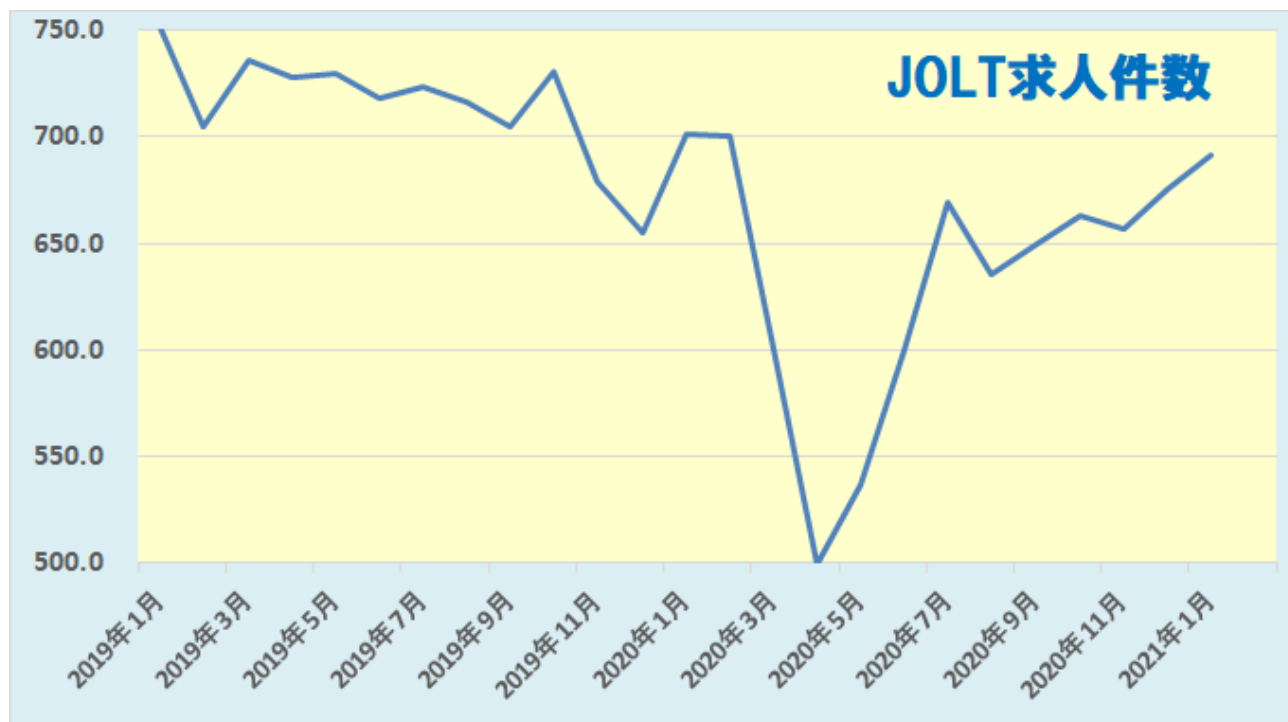
米新規失業保険申請件数（3/6 までの週）は、前週比-4.2 万件と 2 週ぶりの減少となり、昨年 11/7 までの週以来、約 4 カ月ぶりの低水準に回復した。新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいることや、経済活動再開の動きが出ていることが影響した。失業保険継続受給者数（2/27 までの週）は、前週比-19.3 万人となり、8 週連続の減少となった。



データを基に SBILM が作成

1月 JOLT 求人件数 691.7 万件（予想 665.0 万件・前回 664.6 万件⇒675.2 万件）

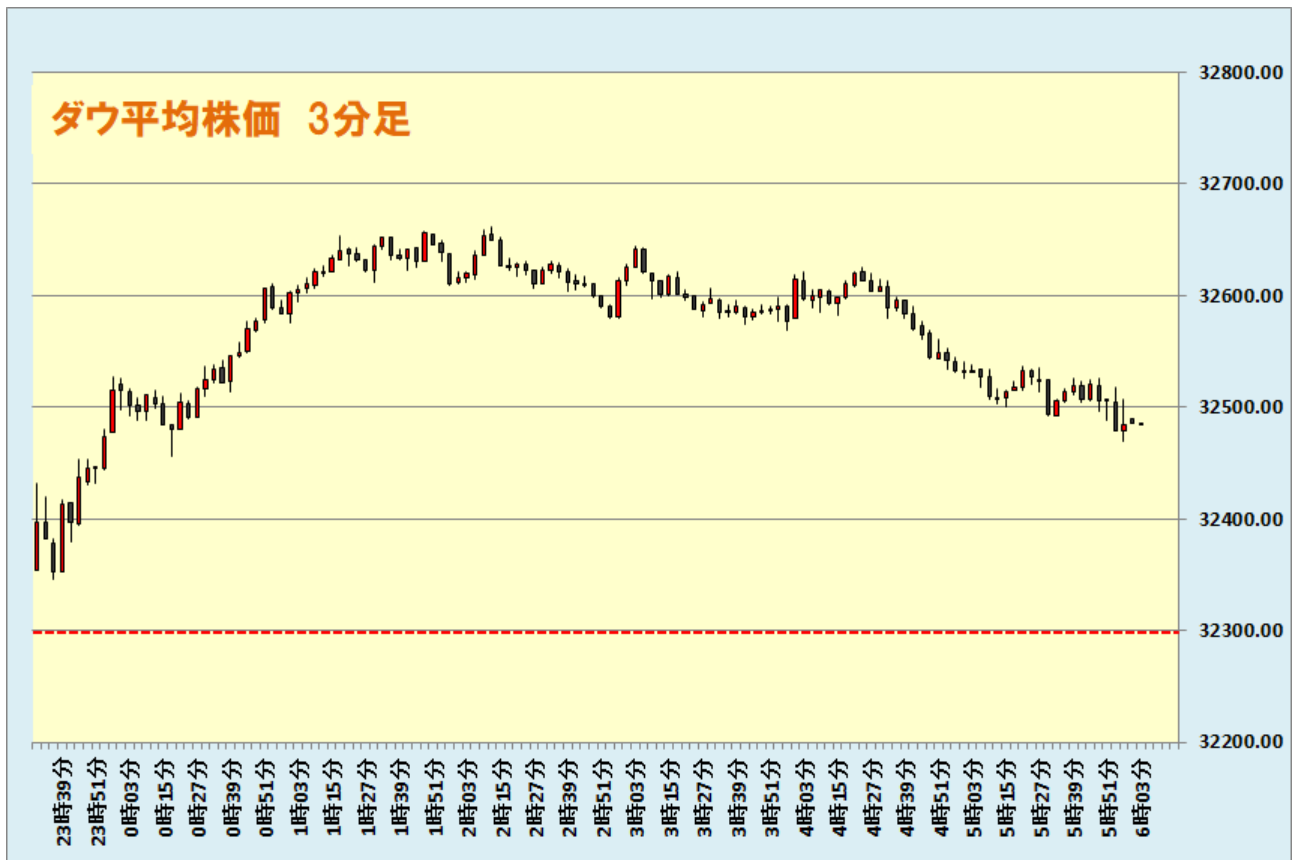
1月の米 JOLT 求人件数は、市場予想を上回り、昨年2月以来の高水準となった。新型コロナウイルスのワクチン接種の動きが広がり、企業が人員採用ペースを加速させていることが示唆された。自発的離職者は331万人（前月329万人）となり、離職率は2.3%（2.4%）に低下した。解雇者と自発的離職者の合計であるセパレーションは531万人（558万人）、雇用された労働者（再雇用含む）は530万人（541万人）となった。



データを基に SBILM が作成

ダウ平均は取引時間中・終値ベースの最高値を連日更新

米株式市場では、序盤に発表された新規失業保険申請件数が約4ヵ月ぶりの低水準に改善したことから、米景気回復に対する楽観的な見方が広がり、ダウ平均株価が序盤に前日比364ドル高まで上昇するなど、米主要株価指数は軒並み堅調な動きとなった。その後、バイデン米大統領が1日前倒しで総額1兆9000億ドル（約200兆円）規模の追加経済対策法案に署名したことも好感された。ダウ平均株価は、188.57ドル高（+0.58%）で終了し、終値ベースの最高値を連日更新した。一方、ハイテク株中心の329.84ポイント高（+2.52%）で終了した。



データを基に SBILM が作成

セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	テクノロジー	1.44%	1	ボーイング	2.71%
2	消費財	0.82%	2	ナイキ	2.62%
3	資本財	0.58%	3	マイクロソフト	2.03%
4	ヘルスケア	0.56%	4	ウォルグリーンBA	1.98%
5	消費者サービス	0.41%	5	セールスフォースD	1.88%

データを基に SBILM が作成

ユーロ/円は 2018 年 11/8 以来の 130 円台回復

NY 市場では、序盤に発表された米新規失業保険申請件数が約 4 ヶ月ぶりの低水準に回復したことが好感され、ドルは主要通貨に対して堅調な動きとなった。さらに、米長期債の指標となる米 10 年債利回りが 1.481% から 1.545% まで上昇したことも加わり、対円では一時 108.71 まで上昇した。その後、バイデン米大統領が 1 日前倒して総額 1 兆 9000 億ドル（約 200 兆円）規模の追加経済対策法案に署名したことも好感され、米主要株価指数が軒並み上げ幅を拡大し、投資家のリスク選好の動きが強まったことから、ドルと円が売られる動きとなった。ドルは、欧州通貨や資源国通貨に対して下落したことや、米 30 年債入札が冴えない結果となり、米国債利回りが低下したことも影響し、対円で終盤まで上値の重い動きが続いた。一方、ラガルド ECB 総裁が会見でパンデミック緊急購入プログラムの購入ペースを加速させる方針を示すなど、ハト派的な姿勢を受けてユーロは序盤やや軟調な動きとなった。しかし、見通しへのリスクはより均衡したとの見方を示したことや、米主要株価指数が上昇したことも加わり、ユーロはドルや円に対して堅調な動きとなり、特に対円では 130.04 まで上昇し、2018 年 11/8 以来の 130 円台回復となった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。